

会 議 録

会議名	平成23年度第2回宇都宮市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	平成23年9月1日(木) 13:10~14:30
開催場所	宇都宮市役所14A会議室
出席者	【委員】小平美智雄, 舟本肇, 小林紀夫, 遠藤和信, 金沢力, 大森玲子, 伴まさ子, 北條信男, 神宮由美子, 上野すみ子, 石島孝夫, 遠藤健二, 佐瀬敦, 神山正巳, 仲田陽介, 宇賀神光夫, 田野島和子 【事務局】環境部長ほか27名
公開・非公開	公開
傍聴者	なし
議題	1. パブリックコメントの結果と対応について 2. 宇都宮市一般廃棄物処理計画の答申(案)について
会議結果	1. 後日, 修正点を確認の上, 結果を公表する。 2. 答申(案)のとおり, 市長に答申する。

会議内容	
パブリックコメントの結果と対応について	
神宮委員	意見の件数が少ないので, ホームページで回答を公表するだけでなく, 市の考え方について全員に返信するべきだと思う。
遠藤(和)委員	全18件と少ない。全回答をまとめて, 意見をいただいた方へ返信してはどうか。そうすれば他の人の意見を見て, さらに興味や関心を持ってもらえるのではないか。
事務局	パブリックコメントは広く市民の意見を問うものであり, 本来返信すべき性質のものではないが, 住所等が記載されている方に対しては返信することを検討したい。
大森委員	「社会科補助教材を毎年作成し, 学校に配布する」とあるが, この「学校」とは小中高のどれを対象としているのか。 また, 配布しているということだけでなく, 具体的に何割の学校が活用しているかといった, 活用状況に関する回答をしたほうが良い。
事務局	社会科補助教材は市内の小学校4年生全員に配布しており, 学校へのアンケートによると約90パーセントの学校で活用されている。
小林会長	活用状況等の具体的な記述をお願いします。
遠藤(和)	社会科補助教材をクリーンパーク茂原の見学者向けに配布したり, 生涯学習センターの講座に活用できるのではないか。また, どこで入手できるか等を周知して頂きたい。
事務局	社会科補助教材の部数には限りがあるため, 公共施設や図書館には置いているものの, 広く市民に配布していない。回答の内容を検討させていただきたい。

仲田委員	家庭ごみ有料化についての意見への回答で「普及啓発につとめ」という回答はわかりにくく、具体的に記載すべきである。基本計画の本文中「中長期施策」の「有料化」の記述も、どういった普及啓発をするのかわかりにくい。
事務局	本文27ページに掲載している発生抑制・分別強化の事業を行いつつ、有料化を検討するということである。 分かりづらい点があったので回答内容については修正を行う。
金沢委員	東北地方の避難者を受け入れたとあるが、具体的な避難者の人数と受け入れ期間を確認したい。
事務局	クリーンパーク茂原と環境学習センターでは、震災発生から1週間以内に避難所を設置し、受け入れ期間は4月末までの約1か月半であった。また避難者数は、手元に正確な資料はないが、環境学習センターで1日平均40～50人を受け入れた。
遠藤（和）委員	「集合住宅を対象とした分別講習会を強化して欲しい」の回答に、不動産管理会社を通じて入居者に「ごみの分け方・出し方」を配布とあるが、配布が目的ではなく、ごみを分別していただくことが目的であるため、資料配布後のフォローまで含めた取組が必要である。そのため、各集合住宅に1つごみステーションを設置し、管理してもらうような制度にすべきである。
事務局	不動産管理会社を通じて、ごみの適正な排出について指導等を行っている。分別講習会を強化して欲しいという意見に対しては、分別が守られていないところで講習会を実施することを計画に位置づけている。分かりづらい点があったので回答内容については修正を行う。
遠藤（和）委員	現実的に、集合住宅ごとに講習会を行うのは難しいのではないかと。不動産管理会社に建築段階でごみステーションを設置してもらい、入居のときに不動産管理会社か大家から指導して頂く方式はどうか。
事務局	現在、集合住宅を建設する際は、新たにごみステーションを1か所設置することをお願いしている。集合住宅を対象とした講習会は難しい点もあるが、管理人等を通して居住者の方に集まっていただくということは可能であると考えている。
田野島委員	新しい集合住宅にはごみステーション設置をお願いしているというが、集合住宅のごみステーションには常にごみが置かれている状態である。集合住宅ごとにごみステーションを設置することで不適正排出が増える等の弊害が生じていることもあるのではないかと。
事務局	基本的に集合住宅ごとにごみステーションを設置することが良いと考えているが、ご指摘のような問題もある。ルールが守られていないような地点には個別に適正排出等についてお願いをしていく。
小林会長	集合住宅については昔から難しい問題ではあるが、市として適切に対応していくといった表現に資料を修正していただきたい。

宇賀神委員	生ごみやし尿・浄化槽汚泥のバイオガス化といった再生可能エネルギーについて、ごみ分野については、今後基本構想の中で検討すると回答しているが、し尿・浄化槽汚泥については、検討の方向性が不明瞭である。
事務局	下河原水再生センターが築46年である。水再生センターのあり方全体を検討する中で併せて検討していきたいと考えている。
宇賀神委員	導入に関する検討は、早急に行うのか。
事務局	水再生センターの検討期間が平成23年～平成27年までかかる。
宇賀神委員	「本市の実情にあった整備の検討」というのが不明瞭なので、もう少し分かりやすい表現をお願いしたい。
小林会長	指摘があった部分はそのように修正すること パブリックコメント公表の際に修正し、事前に委員に知らせること

会議内容	
答申(案)について	
上野委員	エコパーク板戸供用終了後の最終処分場について記述がない。これは今後別の計画などで検討していくものか。
事務局	最終処分計画の中の42ページ「最終処分のあり方」で「エコパーク板戸に代わる最終処分場の整備を行う」と位置づけている。 今後の施設更新等の詳細については、廃棄物処理施設整備基本構想等を策定する中で検討し、審議会に報告していく。 なお、本計画は5年ごとに見直すため、最終処分について、次回計画ではさらに具体的な内容となると考えている。
上野委員	事業系ごみの分別について、収集業者と行政と事業者が連携して、効率的な事業系ごみの収集ができるような仕組みをつくるために、事業者・行政・収集業者で検討する場を設けて欲しい。
事務局	大規模事業者には排出責任者として説明会を実施しており、中小事業者は職員が回って分別等について説明させていただいている。事業者に丁寧に説明して、ごみの分別についてお願いしていきたいと考えている。
上野委員	チップー無料貸出しでは選定枝の排出削減にならないのではないか。剪定枝の分別収集による資源化は、街の緑化を推進している宇都宮市としては必要であると思う。
事務局	チップー無料貸出しによる剪定枝の排出削減効果については、今後実施するものであるので、市民の利用が進み、削減効果があがるよう検討していきたい。 また、中長期施策で位置づけているように、選定枝の分別収集による資源化についても引き続き検討していきたい。

遠藤（和）	<p>市民への情報提供という表現は、市民と行政の協働といった内容が含まれていると思っている。</p> <p>また、情報提供の広報紙、ホームページ等の「等」には、学生へのごみ分別情報提供や市民の生涯学習の出前講座を含めたものということで理解しているので、実施の際はその辺りを念頭に情報提供を行っていただきたい。</p>
仲田委員	<p>災害廃棄物の対応について、東日本大震災の教訓を活かして、災害時廃棄物処理マニュアルの策定を検討すべきではないか。たとえば、ごみ収集車両を緊急車両に指定して燃料を確保するなどを検討すべきである。</p>
遠藤（和）	<p>そういった内容は市地域防災計画において、収集車を緊急車両へ登録することを盛り込んでいただくことで、問題ないとする。</p>
事務局	<p>現在、ご指摘の点を踏まえて地域防災計画の中で見直しをしているところである。</p>
石島委員	<p>生ごみ資源化の検討が、中長期計画に位置づけられているが、できるだけ早期に検討していただきたい。</p>
事務局	<p>中長期施策には位置づけているが、今後も継続して検討を続けていきたい。</p>
宇賀神委員	<p>環境教育支援事業とあるが、教育委員会と連携し、教育センターの年間テーマに入れるほか、生涯学習センター等で定期的に講座を開催するなどしたらどうか。</p>
事務局	<p>現在、教育委員会と連携して、環境教育という形でごみの分別等の授業を行っている。今後も教育委員会と連携をとりつつ、本計画の推進委員会に入るといったことについても検討する。</p>
大森委員	<p>平成22年では資源物以外ごみ量が平成12年に対して22パーセント減量しているが、ごみ処理費用は平成12年とほとんど変わらない。資源物以外の処理コストは減ってきているのか。今後、啓発していく上で、リサイクル等の環境に配慮した取組にはコストがかかるということを説明する必要があるのではないか。</p>
事務局	<p>コストに関しては内訳を詳細に記述していないのでわかりにくいかもしれない。ご指摘のようにリサイクルにコストがかかっているという点もあるため、今後コストに関して精査し、わかりやすく市民に情報提供を行っていく。</p>
小林会長	<p>答申として案のとおりでよろしいか。</p>
委員一同	<p>異議なし</p>
小林会長	<p>答申書はこれで決定となります。</p>